学校番号	1101

令和２年度　工業・電気技術系列

教科	工業(電気)	科目	電気実習４	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	実習指導書（本校作成）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

コンセントに電化製品を接続すると電化製品は動作します。スイッチをオンにすると照明が点灯します。どうしてでしょうか？それは、電気が使用できるように工事を施工しているからです。一定の資格のある人でなければ、電気工事を行ってはならないことが、法令で決められています。電気実習４では電気工事（低圧屋内配線）に関する基礎的な知識・技能を、実習を通して習得します。

2 学習の到達目標

電気技術者として社会に巣立つに際し、及びに関する知識と技術を習得させ、電気技術という観点から広い視野に立って物事を科学的に判断できる能力と態度を育てる。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a. 関心・意欲・態度	b. 思考・判断・表現	c. 技能	d. 知識・理解
観点の趣旨	電気工事に関する課題について関心をもち、その改善・向上をめざして主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。	電気工事に関する課題の解決をめざして思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、技術者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	電気工事の各分野に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、環境に配慮し、ものづくりを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	電気工事の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、現代社会における工業の意義や役割を理解している。
評価方法	学習活動の参加状況 各ショップの作品完成度 各ショップの課題・レポート 自己評価、授業評価	学習活動の参加状況 各ショップの作品完成度 各ショップの課題・レポート 自己評価、授業評価	学習活動の参加状況 各ショップの作品完成度 各ショップの課題・レポート 自己評価、授業評価	学習活動の参加状況 各ショップの作品完成度 各ショップの課題・レポート 自己評価、授業評価

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	配線工事実習	・複線図 ・単位作業	○	○	○ ○		a．電気工事について興味関心を持っている。 b．電気工事を分析的に考え,事実に基づき科学的に判断できている。 c．電気工事技術について施工上の法令を含め,電気工事の技能を安全に作業することができる。 d．電気工事について工具の使用方法や工事の知識や技能を身に付けている	学習活動の参加状況 ショップの作品完成度 ショップの課題・レポート 自己評価、授業評価
後期	配線工事実習	・ケーブル工事 ・合成樹脂管工事 ・金属管工事		○ ○ ○	○	○ ○	a．電気工事について興味関心を持っている。 b．電気工事を分析的に考え,事実に基づき科学的に判断できている。 c．電気工事技術について施工上の法令を含め,電気工事の技能を安全に作業することができる。 d．電気工事について工具の使用方法や工事の知識や技能を身に付けている	学習活動の参加状況 ショップの作品完成度 ショップの課題・レポート 自己評価、授業評価

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。